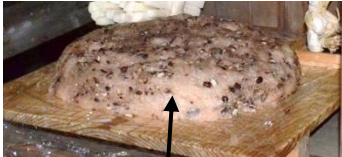




あうちで楽しむ!
草津れきし発見隊!!


くさつ 草津ものしりクイズ

超難問 1 回答解説 (答え合わせ)

<p>もんだい 1</p>	<p>草津市域では、153ヶ所の遺跡のうち、水中遺跡として烏丸崎遺跡、七条浦遺跡、北山田湖底遺跡、^{やばせ}矢橋湖底遺跡、^{つだえ}津田江湖底遺跡、志那湖底遺跡の6か所認められています。</p>
<p>こたえ ③</p>	<p>このうち、市域の最も北に位置する「烏丸崎遺跡」からは、烏丸半島のほぼ全域に広がる遺跡で、縄文時代から平安時代の遺構(建物の痕跡)や遺物(当時の人々が使用していた道具など)が見つかっています。</p>

<p>もんだい 2</p>	<p>^{もっそう}盛相は京都市の北白川天神宮や北野天満宮のお祭りの際にみられる神饌で、白米を炊いて桶などの型に押し込めて固めたものです。</p>
<p>こたえ ①</p>	<p>^{こくもち}御供餅はいわゆるお赤飯を独自の形の杵と臼で^{わら}藁に包んで舟の形に整えたり、げんこつ大に丸めたりと様々な形状で供えられます。</p> <p>めずしは、酒粕を手のひら大の大きさに丸めて、そこにぼてじゃこと呼ばれる小魚を突き立てたもので、なれずしの原型ともいわれています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>「御供餅」</p> <p>右写真中央にある藁の束のなかに、御供餅が入っています。写真の形状のほかにも、げんこつのように丸めたものも作られます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  <p>「めずし」</p> </div>

<p>もんだい 3</p>	<p>本市の遺跡のうち、最初に調査を行ったのは北谷古墳群です。第一次調査として昭和35年（1960）に約5か月をかけて調査が行われました。</p>
<p>こたえ ①</p>	<p>野路小野山製鉄遺跡は昭和53年（1978）に、花摘寺廃寺は昭和52年（1977）にそれぞれ第一次調査が行われました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>史跡花摘寺跡</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>野路小野山製鉄遺跡 製鉄炉</p> </div> </div>

<p>もんだい 4</p>	<p>草津宿本陣に残る記録によると、元禄12年（1635）の、浅野内匠頭は</p>
<p>こたえ ②</p>	<p>7月4日に、吉良上野介は7月13日にそれぞれ供を引き連れて草津宿本陣（当時の田中七左衛門本陣）を利用しています。この9日違いで草津宿本陣を利用した2年後、元禄14年（1701）に赤穂事件が起こりました。</p> <div style="text-align: center;">  <p>「大福帳」（草津宿本陣蔵）</p> </div>

<p>もんだい 5</p>	<p>②九世詮舜は豊臣政権下において、芦浦観音寺の住職と船奉行、蔵入地代官を務めました。慶長5年（1600）関ヶ原の戦いと同じ年に入寂しました。</p>
<p>こたえ ②</p>	<p>①七世慶順は織田信長から寺領を安堵された際の住職、③十三世朝舜は江戸時代に船奉行を罷免され、宗教寺院へと変化する時代に住職を勤めた人物です。</p>

【問合せ先】

草津市歴史文化財課 ☎525-8588 草津市草津三丁目 13-30

TEL : 077-561-2429 FAX : 077-561-2488 E-mail : bunkazai@city.kusatsu.lg.jp